

アーケード国道

JJ1SXA/池

国道324号は、長崎県長崎市から熊本県宇城市に至る一般国道で、長崎県長崎市の旧長崎県庁があった長崎市江戸町の江戸町交差点が起点だ。

県庁坂を下り、中央橋・浜町地区に差し掛かったところで、長崎随一の繁華街である浜町アーケード商店街を通過する。

長崎市の茂木港から天草灘の海を高速船で渡る海上国道区間を経て、熊本県天草下島の苓北町にある富岡港から再び陸上区間となり、天草下島と天草上島の天草灘・島原湾沿いを通る海岸道路として宇城市へ向かい、同市内の国道57号交点で終わる。

長崎市の浜町アーケードは、商店街のアーケードでありながら国道324号として指定されており、日本国内で2例しかない珍しいアーケードの国道に指定されている。

浜町アーケード内及びその手前に掛かる鍍橋は、日中の午前10時から翌朝5時まで歩行者専用の通行規制となることから、自動車・原動機付自転車では午前5時から午前10時までの1日5時間だけ通行できる。

同じくアーケード国道がある東大阪市の国道170号と異なる点は、浜町アーケードの東西入口には、国道324号の国道標識も設置されているところである。

該当区間の西に、中央橋を起点とし、長崎電気軌道を挟む片側2車線の市道浜町油屋町1号線が並走しており、終日通行ができない国道に代わり「本通り」として機能している、従って規制時間帯の迂回は容易である。

前記の、「鍍橋」は、「くろがねばし」と読み、明治元年に架けられた、我が国初の鉄橋とされている、鉄橋架橋以前には、「大橋」や「第十五橋」と呼ばれた木造橋が架けられていたが、水害により幾度となく大破・流失していた。



もう一つのアーケード国道は、国道170号線だ、大阪府を代表する半環状の幹線道路でもあり、新道(バイパス)は大阪外環状線の一部を構成する。

起点がある高槻市で淀川を枚方大橋で越える前後区間と、終点がある泉佐野市のJR熊取駅付近を除いた大部分は新旧2本の道路が並行しており、いずれも国道指定されている。

国道の新道が開通すれば、旧道は国道の指定を外されることが多い日本の国道のなかでも、その旧道が国道指定を未だ解かれていない珍しい路線でもある、大阪市内の近鉄奈良線瓢箪山駅付近には、瓢箪山駅を挟んで、北にサンロード瓢箪山、南に「ジンジャモール瓢箪山」という2つのアーケード付き国道商店街がある、アーケードの長さは合わせて362メートル、どちらも昼間は車が通れない。(午前7時から午後8時は、歩行者専用)

それにしても、なぜ国道にアーケードなのか、実はアーケードが設置された1961年当時、商店街は「府道枚方富田林泉佐野線」の一部だった、旧国道170号に指定されたのは2年後の1963年のこと、つまり、国道にアーケードをかけたというより、アーケード街が後から国道に指定されたのだ。



近鉄奈良線瓢箪山駅前
写真の奥アーケード側手前方向が国道170号
手前の後ろ側もアーケードになっている

階段で一部車両が走れない、通称階段国道と言われる国道339号や、僅か、徒歩3分で通過できてしまう、超短い(187.1メートル)国道174号があれば、石畳が敷かれた暗峠の有る国道308号、国道の一部がアーケードの商店街の国道324号と国道170号、世の中には常識では考えにくい所が多くあります、探せば、まだまだ珍しい所があるでしょう。